

## 教育プログラム・コースの概要

大学名等	日本大学歯学部
教育プログラム・コース名	日本大学 特色ある医療支援歯学教育プログラム アドバンスト歯科学講義・実習—摂食機能療法学・高齢者歯科学
対象者	歯学生6年次生
修業年限（期間）	半年（6年次前期）
養成すべき人材像	・一般的な摂食機能療法および高齢者歯科の技術・理念を修得した医療人としてのマインドを持つ歯学生
修了要件・履修方法	修了要件： 課題レポートを提出し、プレゼンテーションを行い、履修後の試験に合格すること【日本大学歯学部必修、他参加校自由選択】 履修方法： <b>1.2単位分の「アドバンスト歯科学講義・実習—摂食機能療法学・高齢者歯科学」を新設する。</b> 次項の内容からなる履修科目内容を受講させる。
履修科目等	<日本大学必修科目、他大学自由選択科目> アドバンスト歯科学講義・実習—摂食機能療法学・高齢者歯科学 ・講義90分×7回（1単位） ・基礎実習90分×2回、臨床実習90分×2回（計6時間、0.2単位）  講義（90分×7回） リハビリテーション医学、摂食・嚥下の生理学、摂食・嚥下障害の診断、成人期の摂食・嚥下障害  基礎実習（相互実習・90分×2回） 1. 口腔ケア実習、摂食機能療法における機能訓練（治療的アプローチ）の実際、討論（先行期・準備期・口腔期、咽頭期、食道期障害の病態） 2. 車椅子利用者を想定した相互実習、代償的・環境改善的・心理的アプローチ、課題学習（チームアプローチの在り方）、発達期の摂食機能障害、課題発表・討論（発達期の疾患・障害と摂食機能）  臨床実習（医学部付属病院への病棟診療、学外施設への訪問診療・外来診療への参加・90分×2回） 1. 日本大学病院病棟（救命集中治療室を含む）臨床実習 2. 院外訪問診療（居宅、特別養護老人ホーム）、高齢者への歯科治療課題学習（高齢者が抱える種々の全身疾患と生活の関連性）
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	基礎実習では、車椅子利用者を想定した相互実習を実施することに工夫がある。 臨床実習では、 <u>医科歯科連携を念頭に、病棟・訪問・外来の形態をとりながら、参加型および意見交換・発表の場としていることに新規性及び独創性</u> がある。 臨床実習実施において、 <u>学内だけでなく、日本大学病院病棟（救命集中治療室を含む）及び院外訪問診療（居宅、特別養護老人ホーム）を組入れているという新規性・独創性</u> がある。

指導体制	<p>日本大学歯学部摂食機能療法学講座が統括する。</p> <p>教育プログラム統括： 日本大学・植田耕一郎教授（摂食機能療法学講座）</p> <p>担当教員： 日本大学・平場久雄専任講師（摂食機能療法学講座） 日本大学・阿部仁子助教（摂食機能療法学講座） 日本大学・中山潤利助教（摂食機能療法学講座） 日本大学・佐藤光保助教（摂食機能療法学講座） 他臨床経験3年以上の専修医2名</p>						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	<p>卒後臨床研修における、摂食機能障害の病態を知識と診断力を得た、口腔相障害に対する、対応可能な手技の習得につなげる。 高齢者歯科の技術・理念の重要性を認識させ、卒後臨床研修におけるさらなる習得につなげる。</p>						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	日本大学歯学生6年次生	0	130	130	130	130	520
	参加大学6年次生	0	0	5	5	5	15
							0
							0
	計	0	130	135	135	135	535